

美 261 学

ハンス=ゲオルク・ガダマーにおける芸術をめぐる解釈 —遊びから遂行へ—	阿達 佳子	1
物語におけるストーリー—関心相對説—	岡田進之介	13
「無関心性」概念から考えるフェミニスト美学	石川 茉耶	25
望楼と絵画—狩獵塔トーレ・デ・ラ・パラダにおける君主の統治と視覚—	山田のぞみ	37
J・W・ウォーターハウスの《アポロとダフネ》における樹木への変身 —人間と自然の境界の揺らぎが生む緊張—	若名 咲香	49
オーウェン・ジョーンズの『装飾の文法』における色彩への関心	竹内 有子	61
リジア・クラーク作品における ^{ヴィヴェンシア} 〈生の経験〉と日常性	飯沼 洋子	73
B・A・ツィンマーマンの時間哲学の再考 —哲学、文学、音楽の結節点に注目して—	曹 有敬	85
第七十三回美学会全国大会報告		
大会報告		97
発表要旨（一覧は 145-146 頁を参照）		102
書評		
原壘 著『武満徹のピアノ音楽』 アルテスパブリッシング、2022 年	西田 紘子	119
古川真宏 著『芸術家と医師たちの世紀末ウィーン—美術と精神医学の交差』 みすず書房、2021 年	角山 朋子	125
例会・研究発表会発表要旨		130
学会消息・編集後記		141
欧文要旨		150